

<h1>第 26 号</h1>	<h1>Super Highway</h1>	 J R 東労組ホームページ
発行日 2023. 8.28	J R 東労組バス関東本部	

8/25 新たな貸切バスの運賃・料金を公示

○ 関東運輸局管内の新たな運賃・料金の額（変更命令の検討を必要としない運賃・料金額）

		旧下限額	新下限額	
運賃	キロ制運賃 (1km 当たり)	大型車	120円	
		中型車	100円	
		小型車	80円	
時間制運賃 (1時間当たり)	大型車	5,310円	6,580円	
	中型車	4,490円	5,560円	
	小型車	3,850円	4,770円	
料金	交替運転者配置料金	キロ制料金 (1km 当たり)	30円	40円
		時間制料金 (1h 当たり)	2,130円	2,430円
	深夜早朝運行料金	時間制運賃及び交替運転者配置料金(時間制料金)の2割以内	時間制運賃及び交替運転者配置料金(時間制料金)の2割	
	特殊車両割増料金	運賃の5割以内	設備や購入価格等を勘案した割増率	

※車種区分の定義

大型・・・車両の長さ9メートル以上又は旅客席数50人以上

中型・・・大型車、小型車以外のもの

小型・・・車両の長さ7メートル以下で、かつ旅客席数29人以下

○ 運賃・料金の見直しの概要

現在の貸切バスの運賃・料金は、貸切バス事業者が適切に安全への投資を行えるようにすることを目的として平成26年に導入され、導入以降今日まで、人件費や燃料費等のコストが上昇していることから、これを運賃・料金に反映させ、さらなる安全への取組みを着実に実施できるよう、新たな貸切バスの運賃・料金を公示しました。また、現在貸切バス事業者は、1時間当たり及び1km当りの単価の上限額と下限額を国に届け出ていますが、貸切バス事業者の創意工夫によって高付加価値なサービスを提供することも可能となるよう、上限額の届出を不要とすることとしました。

8/25に上記のように、貸切バス運賃・料金が公示されました。議論過程では、バス会社がどういう姿勢でビジネスをしているのかをわかるようにすることが国に求められている、バス会社が安全投資に係る価格を転嫁する理由づけになるのではないかとあります。今回の運賃値上げにより運転者の給与をあげ、しっかりと運転者を確保していきたいとあります。

「安全への投資、」運転者の給与改善、しっかりと反映させていただきたいと思えます。

JRバス関東で働く仲間を一つに！